▶表4.　かながきの例◀

可	不　可	可	不　可	可	不　可
あいまって	相俟って	…くらい	位	とかく，とにかく	兎角
あえて	敢て	ぐあい	具合，工合	とどこ	何処
あたかも	恰も	ここ	此処，茲，爰	どの，どれ	何の
あと	後	…ことと	事	…ところ	所，処
当たる，当てる	当る，充る	ことさら	殊更	ともあえず	迚も
あらかじめ	予め	この，これ	此，是，之	ともに	取敢えず
あらゆる	凡，総，凡有	ごとく	如く	ないし	共に
ある	土る，有る	ごとに	毎に	なお	乃至
あるいは	或は	ささえる	支える	なかなか	尚，猶
…(と)いう	…(と)言う，…(と)云う，	さしあたり	差当り	ながら	仲々，却々
		さしつかえ	差支	なぜ	乍ら
いかん，いかなる	如何(なる)，(に)	さっそく	早速	など，ら	何故
いかに		さほど	左程	なるべく	等，杯
…(して)いく，ゆく	…(して)行く	さまざま	様々	なるほど	成可
いくぶん	幾分	しいて	強いて	(し)にくい	成程
いずれ	何れ，孰れ，いづれ	しかし	併し，然し	はいる	…(し)難い
いたずらに	徒に	しかしながら	然乍	はなはだ	入る
…(して)いただく	…(して)頂く，戴く	しかも	然も，而も	ばかり	甚だ
		しきりに	頻りに	ひいて	許り，計
いちいち	一々	しだいに	次第に	ひととおり	延いて，惹いて
いつ	何時	しばしば	屢々，屡次	ページ	一通り
いっさい	一切	しばらく	暫く	ほう(の)	頁
いっしょに	一諸に	しまう	了，終，仕舞う	ほう	方(の)方
いっせいに	一斉に	じきに	直に	ほかに	外に
いっそう	一層	十分に	充分に	ほとんど	殆んど
いったい	一体	…(し)すぎる	…(し)過ぎる	ほぼ	略々
いったん	一旦	すこぶる	頗る	まことに	誠に
いっぱいに	一杯に	すなわち	即ち，則，乃	まして	況して
いっぺんに	一偏に	すばやい	素早い	ますます	益々
いまだ，まだ	未だ	すべて	凡，総，全	まちがい	間違い
いよいよ	愈々	すみやかに	速やかに	まで	迄
…(して)いる，おる	居る	する	為	まま	儘
いろいろの	色々の	ずいぶん	随分	みなす	看做す，見做す
いわゆる	所謂	ずつ	宛	むしろ	寧ろ
…(の)うち	…(の)中	ぜひ	是非	むずかしい，むつかしい	六ヶ敷い
…(し)うる	…(し)得る	そこ	其処		
うんぬん	云々	その，それ	其，夫	りょう	明瞭
おいて	於て	それぞれ	夫々	らす	齎す
おおむね	概ね	…(し)たい	…(し)度い	ろん	勿論
およそ	大凡，大約	たいせつ	大切	つ	有つ
…(して)おく	…(して)置く	たいてい	大抵	って	以って
おそい	遅い，晩い	たいへん	大変	とに	下に，許に
おって	追って	たくさん	沢山	とより	元，素，固より
おのおの	各々	ただ	唯，只，啻，惟	はや	疾早
おのずから	自ら	ただし	但し	…(し)やすい	…(し)易い
おもむろに	徐に	たちまち	忽ち	やっかい	厄介
…(した)おり，…(の)おり	…(した)，(の)折	たまたま	偶々，会々	やはり	矢張り
かえって	却て	ためい	為	やむをえず	不得已，止
かかる，かくして	斯る，斯して	たいたい	大体	やや	稍
かかわらず	拘ず	だいぶん	大分	ややもすれば	動もすれば
かつ	且	だけ	丈	ゆえに	故に
かっこう	恰好	だんだん	段々	ゆえん	所以
かつて	曾て，嘗て	になみに	因みに	よい	好い，良い
かなり	可成	ちょうど	丁度，恰度	ようす	様子，容子
かねがね	兼々	ちょっと	一寸，鳥渡	ようにやく	様に
かねて	予て	ついて	就て，付いて	よく	漸く
かまわない	構わない	ついでに	序	よくほど	克く，能く
きたす	来す	つもり	遂に	よって，よる	余程
		ていねい	積り，心算	りっぱ	依，由，因，拠
		できる	丁寧	わかる	立派
		でとうてい	出来る	わざわざ	分，判，解る
		…(の)とおり	到底	わたって	態々
			…(の)通り		亘って，渡って